



第61号

発行日
令和3年3月1日
発行
栃農高同窓会事務局

栃木県立栃木農業高等学校
同 窓 会

ご挨拶



同窓会会長
横尾 武男

感じさせられ、栃農の強さを改めて感じることもできました。

また、同窓会としましては、例年七月上旬に実施していましたが総会・懇親会が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施することができず、役員会での決議、支部長への書面通知となつてしまい一年に一度の顔を合わせる機会が無くなつてしまつたことが残念でした。

さて、今年の栃農の活躍を振り返つてみますと、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、制限のある学校生活でありながら、多くの生徒が活躍していると聞いております。陸上競技部では、環境デザイン科二年葛西公平君が九月に陸上競技県新人大会において八百メートルで七位に入賞し、関東新人大会の出場権を獲得、十月に関東新人大会に出場しました。同窓会としても、激励金を贈呈し応援をしました。また、資格取得にも多くの生徒が挑戦し合格をしております。

さらに、本年度から三年間かけて「未来を創る高校生地域連携・協働推進事業」の一環として、新四学科がそれぞれの学科の特性を活かした学習に応じ、地域に農を通して働きかけるとして活動が進んでいると伺っています。是非とも得た知識や

技術等を新たな形で地域に還元し発信できるリーダーを輩出したいとしたいと思います。このような活躍は同窓生として誇りに思います。

本年度は、旧五学科閉科・新学科が全学年そろつてのスタートの年となりますが、本校が県内唯一の単独農業高校として、農業後継者の育成、農業関連産業の担い手づくりに貢献していることは周知の事実です。学校が新しくなるとは言え、栃木農業高校の名前はそのまま残り続けます。これまでの農業高校としての役割や教育を踏襲しつつ、未来に向けて求められる「農業のかたち」を敏感にとらえ、発展することを願っています。これまでの輝かしい歴史と伝統を継承しつつ、更なる発展と時代のニーズに 대응することができれば、門高校を目指すことができれば、より地域社会と密接に関わり合える学校として活躍できると信じています。

終わりに、母校の益々の発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ発刊の挨拶といたします。

同窓会機関誌「土」の発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。一昨年の東日本台風（第十九号）の上陸により県内では近年にない大きな災害に見舞われました。現在では農地や河川の工事が急速に進められており、一日でも早い復興が望まれます。また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、私達が経験したことのない状況が今後もお続いています。本校におかれまして、学校行事の縮小や中止になり、特に栃農祭が中止になった事は、在校生だけでなく、同窓生、地域の方々にとって大変残念であったと思います。しかしながら、そのような中、タイムトライアル、行き先を変更しての二年学年修学旅行、収穫祭、学年別の球技大会が実施できた事は、生徒だけでなく教職員の方々の前向きな姿勢を大変



ご挨拶

校長

巻島

陽一

「令和」新たな時代へ」

同窓会員の皆様には、日頃より、本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

まず、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止について触れさせて頂きます。四月八日始業式・離任式を実施してから生徒は休業となりました。新任式は、実施できず、放送で名前・前任校名・教科名を紹介するだけで済ました。その後五月七日PTAの協力で総会資料と休業中の生徒の学習課題を送付致しました。五月十三日三年生を午前十午後で分散登校、次が二年一年と実施十八日から学年ごとの分散登校を午前中行いました。二十六日から学年ごとで一日の授業を実施しました。六月一日から校長挨拶の後（放送）通常登校が開始されました。この日は全校で欠席者が二名でした。続いて雨続きの七月となり、天候もいきなり梅雨明けで猛暑続きでした。授業時間の確保のため二十三日間の休みで、二十四日第二学期の始業式でした。そこから十二月二十二日までの長い長い第二学期を送りました。楽しみにしていた栃農祭

も中止となり学習の成果を発表する場も無くなり非常に残念でした。マスク・検温・手洗い・ソーシャルディスタンスの学校生活です。

しかし、そんな中、生徒は、授業に集中して向かってくれました。野菜も秋作から通常の栽培となりました。行事は、タイムトライアル（長距離走）、二年生修学旅行、収穫祭、学年別球技大会、役員選挙が実施できました。

次に、本年度は、本校が明治四十年に栃木農学校として栃木市内「圓通寺」を仮の校舎として開校し、昭和二十三年栃木農業高等学校と改称し「農業科」「家庭科」が小学科として正式に設置してから続いている「農業科」「生活科学科」、また、昭和三十八年から続いている「食品化学科」、昭和四十八年から続いている「農業土木科」、平成二年から続いている「生物工学科」（園芸科の流れだとすると昭和三十八年から）の閉科の年でもあります。多くの卒業生が、県南のこの地で、農業は元より関連産業等多くの仕事に携わり地域を支えこの地のリーダーとして多くの場で活躍しています。その百十四年の歴史の重み、また、「明治」「大正」「昭和」

「平成」「令和」の五つの元号を経て今があります。歴史を振り返り生徒は、三年間ですが、今年は特に思いをつないで欲しいと思います。

さて、今年は、各会社の求人状況が厳しい中ではありましたが、就職状況は良好で、希望する就職先に多くの生徒が内定をいただきました。また、進学も生徒達の希望する進路へ大部分の生徒が合格することができました。特に、四年制大学には琉球大学をはじめ、現在七名が合格しています。是非、栃農高で学んだ三年間を忘れることなく、本校で身につけた知識・技術や精神力を新天地においてもいかんなく発揮し活躍されることを願っております。また、創立百十周年の時、鈴木前校長が掲げた、「栃農ルネサンス」歴史と伝統から新たなステージへ」というスローガンを本年度の卒業生は立派に体現してくれたと思います。

次年度は新生栃農高として全ての学科がリニューアルされ、「植物科学科」「動物科学科」「食品科学科」「環境デザイン科」の四つの新学科となりますのでさらなるご協力をお願いいたします。

結びに、同窓会員の皆様の益々のご健勝とご活躍、本校同窓会の一層の発展を御祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

～役員会次第～

- 1 開会のことば
- 2 会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 役員自己紹介
- 5 議題

(1)令和元年度事業報告

(2)令和元年度決算報告(監査報告)

(3)令和二年度事業計画案

(4)令和二年度予算案

(5)その他 総会の実施の可否について

祝賀事業について

屋外倉庫の寄贈について

役員改選について
- 6 閉会のことば

栃農高同窓会総会報告

令和二年度栃農高同窓会役員会が六月十五日(月)が本校会議室において行われました。本来であれば、七月上旬に総会及び懇親会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から今年度は役員会の決議、各支部長への書面での通知という形を取らせて頂きました。

横尾武男会長(昭四十五農卒)からは「本年度で五学科が閉科し来年度から新しい四学科に改変する。変革の年で我々同窓会も一丸となって学校を支えていく必要がある。」と心強いお言葉をいただくことができました。

役員会では令和元年度事業報告、決算報告(監査報告)、令和二年度事業計画案、予算案、その他について審議していただきました。また、本年度は任期満了に伴う役員改選の年であり、現役員の五名の再任、副会長一名が辞退されましたが、今期に限り後任は設けず、次期に選任することとなりました。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

新同窓会役員一覧

会長	横尾 武男	(再任)
副会長	和賀 井 政雄	(再任)
副会長	清水 武治	(再任)
副会長	岩本 敏央	(教頭)
副会長	大塚 良仁	(事務長)
監事	田中 正造	(再任)
監事	日向野 哲夫	(再任)
監事	小林 真理子	(再任)

同窓会資料館内神棚処分

同窓会資料館の取り壊しに伴い、(火)に会長、学校長の出席のもと資料館内にあった、神棚を大平山神社、坂本神主によりご祈禱をして頂きました。



屋外倉庫寄贈

同窓会資料館の取り壊しに伴い四月二十二日(水)に屋外倉庫が寄贈され設置されました。校庭南西側倉庫(男女便所と一体)東側に設置され、現在は体育、運動部活用倉庫として活用させて頂いています。寄贈にあたり多くの方々のご理解、ご協力をいただき感謝の意を申し上げます。



本校生徒の活躍

栄光の先輩方

【文化部の主な実績】

大出 三夫 様 (昭三十三年農業科卒)

旭日双光章 (地方自治功労) 受賞

高田 憲一 様 (昭三十八年農業科卒)

旭日単光章 (農業振興功労) 受賞

【運動部の主な実績】

栃木県高等学校陸上競技新人大会
男子八百メートル 第七位
関東新人大会出場権獲得
環境デザイン科二年 葛西 公平

第七十七回とちぎ国体
ビーチバレーボール種目
強化指定選手選出

食品科学科 一年 若菜 蒼大

栃木県高等学校新人柔道大会

女子 第三位
食品科学科 二年 中島 礼華

男子 第五位
環境デザイン科一年 平賀 翔大

剣道段位 二段 二名
講道館柔道段位 初段 五名

そば道段位日光認定会
初段 四名
とちぎ地産地消費大賞
二段 一名
奨励賞 農業環境部

優秀賞 農業環境部

第十六回「地域伝承文化に学ぶ」コンテスト

第五十三回下野教育書道展
銅賞 食品科学科 二年 深津 瞳美

奨励賞 食品科学科 二年 久田 あいり

堂本 京香

【コンクール関係結果】

第十七回全国高校生押し花コンテスト
西日本新聞社賞
生活科学科 三年 石川 茉弥

石田 結衣

第四十八回毎日農業記録賞
優良賞 農業科三年 大竹 芳樹

第十二回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト
優秀賞
食品科学科 二年 近藤 大斗

不審な電話に注意!!

同窓会を名乗り、「職場」や「連絡先」などを聞いてくる不審電話があるという問い合わせが増えております。同窓会事務局としては、**会員の方に直接お電話しなればいけない事案はありません。**特に、ご家族の方が不審電話を受け、ご家族の連絡先を伝えてしまっていることが多いようです。のでご注意ください。
栃農高同窓会係より

編集後記

会員各位におかれましては、日頃より本校同窓会の諸事業に関しまして、多大なご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。一昨年度より、ホームページでの掲載に変更し、多くの方々の目にとまることとなりました。今後、より同窓会の内容を発信できるようにつとめていきますので、ご協力とご理解をお願いいたします。編集後記とさせていただきます。